

放課後等デイサービス 生活介護事業

ふれあい広場・支えあいの会 通信

特定非営利活動法人

元氣福祉就労支援ボランティア

220-0073横浜市西区岡野2-3-30 TEL:045-320-0732

Email: hureaihiroba0901@gmail.com

タウンニュース南区版（2018年8月16号）より 再掲
よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 教育長賞
「理解する」ということ 市立平楽中学校3年 荻原 悠人

荻原 悠人君

僕には障がいのある弟がいます。指は一本しかなく、一人で立つことはできません。

ある日家族で中華街に行きました。しばらく歩いていると僕達家族の周りに沢山の人が集まってきて弟の姿を見ていました。中には笑っている人もいて、僕はとても嫌な気分になり、どうしようもない怒りがこみあげてきました。バスや電車の中でも見られたり笑われたり、弟が乗っているカートを押されることさえあります。このようなことが起こるのは障がいのある人への理解が足りないからだとは僕は考えます。

では、どうすれば理解を深めることができるのでしょうか。それは、一人一人が障がいのある人に対して関心をもつことだと思えます。

僕が通っていた小学校は隣に障がいのある子ども達が通う、特別支援の学校があります。二つの学校は一緒にご飯を食べたり歌を歌ったり、互いに沢山の交流をしています。この交流が障害がある人も自分達と同じように泣き笑うのだということ、彼らができることとできないことを知るきっかけになるのです。

僕は昨年、悪性リンパ腫という血液のガンになりました。幸運なことにその病気が治りましたが、その副作用で半年前とは少し外見が変わりました。退院後、外見のことでバカにされるのではないかと心配していましたが、久しぶりに学校に行ったとき、沢山の人が「退院おめでとう」と声をかけてくれて本当にうれしかったです。しかし今でも見られているのではないかと、笑われていないかと思ってしまうこともあります。そして気が付きました。弟はいつもこんな気持ちなのかなと。

僕が自分自身のことや弟のことをこうして言えるのは、中学校三年間の国際教育の学習で、「違い」を理解し相手を受け入れることを学んだからです。外国につながる人がたくさん通う僕の学校は、違う見た目や考えをもつ人がたくさんいます。その中でも、周りのみんなが受け入れているからこそ安心して、堂々と自分の考えや想いを語れるのです。この中学校の環境のように、僕の弟のような障がいのある人もない人も、色々な人がいることを理解することで、「差別」がなくなっていくと思います。

差別をなくすのは難しい。いいえ、誰にでもできることです。大事なことは「理解するという事」。これは誰だってできることなのです。（スピーチ原稿、全文ママ）

◎1月24日（金）は駅のトイレの調査の日です。話し合ってから東急の大井町線の緑が丘駅の調査をすることにしました。平沼橋→西谷→自由ヶ丘→緑が丘です。五木田さんは平沼橋駅のエレベータが見えると小走りで行って上手にボタンを押してください。緑が丘には赤ちゃんのおむつ交換台しかありませんでした。名カメラマンの稲垣さんにシャッターを押していただきました。緑が丘の由来です。「まわりが緑の木が多かった」からだそうです。そうなんだって感じですね。帰りは緑が丘→自由ヶ丘→新横浜→西谷→平沼橋です。五木田さんは落ち着いていらっしやいました。まどから外を見ていらっしやいましたさて、西谷駅での乗り換えのときです。改札を通過してエレベータに乗ろうとしていたら五木田さんが横にスッと来て切符を差し出れたのです。木元が改札を入るときに切符を取り忘れていたのです。「五木田さんありがとうございます。」とお礼を言いました。



この段差には何の意味があるのだろうか

◎2月の社会体験学習は大根橋にしました。風もあまり強くなく気持ちの良い散策ができました。残



◎4月からの取り組み

ショッピングモールのトイレの調査してユーチューブで発信をすることになりました。この活動は重度の障害をお持ちの方も利用可能です。重度の方もプロジェクトチームのプレゼンテーションに参加をしていただき、チームメンバーから声を掛けられることによって自己効力感を得ていただきます。撮影にも同行していただきます。

自己効力感とはカナダ人の心理学者アルバート・バンデューラが提唱しました。

※自己効力感とは主に次の4つの源泉によって形成されるといわれています。

(1)達成体験

自分自身の行動によって、達成した体験のことです。自己効力感を定着させるうえで、最も効果的といわれています。

(2)代理経験

他者が達成している様子を観察して、想像をかきたて「自分にもできそう」と予測すること。自分自身が直接、体験できる範囲は限られていますが、代理経験を使うことで仮想体験が可能になります。代理経験で得られる自己効力感の影響は大きいと考えられています。身近なものでは「読書」から得られる情報によるバーチャル体験です。

(3)言語的説得

達成の可能性を、言語で繰り返し説得すること。

しかし、言語的説得のみによる自己効力感は、容易に消失しやすいといわれています。言語的説得はきっかけでしかないという切り切って、早期に達成体験によって自己効力感を定着させるのが効果的です。

(4)生理的情緒の高揚

苦手だと感じていた場面、動揺することなく落ち着いていたり、身体的な変化が起こらずにすることで、自己効力感が強められることを言います。

以上から言えることは、

自己効力感は、小さな成功体験を繰り返して、蓄積することで高める一方、目標とするモデルを心理的に身近なところに見つけて成功を発見することで仮想体験的に、自己効力感を育てていくことができます。

◎2月9日の子ども食堂お弁当等配布風景



◎2月9日（土）生活創造空間西5階でのフードパントリーと子供食堂



げんき 1階 (重症心身障がい児部) 5名

今年も、始まりまして一ヶ月が経ちました、まだ、寒い冬が続いて居りますが、如何お過ごしでしょうか。近いうち春がやって来まして、子供たちも楽しみな、春休みも有りますね。今年の年末年始から、現在まで、今年気になりましたのは、感染症の多さに驚きました。今年は、様々な四種類程度の感染症が近場で流行しまして、重篤な症状等を呈するリスクの有る、感染症も皆様の力強い生命力で乗り切ったと報告を受けています。ウィルス等に負けない、身体を共に作って行けたらと思っております。また、来月より担当が変わります。さて、1月にふれあい広場一階「げんき」で行いました、内容は、外出やお出掛けでは、近隣の公園から始まりまして、頻度の高さを維持して居ります。また、港の見える丘公園等、行って来ました。一方の室内では、ボールや風船等を多用した、遊びに力が入っていました。その他にも、作業療法的観点で以前から続けて居ります、工作も進めるだけ進めて居ります。また、指先の繊細な動作動作訓練を兼ねまして、ブロック遊びや、木工、塗り絵等、室内での活動や訓練が行われて居ります。また、感覚的要索では、木材にも質的違いが有りますし、発泡スチロール、プラスチック、紙、土等、感覚を使用し弁別を感じてもらえたらと思ひ、用意して行っております。出来よりも、過程を重視した形で、取り組んで頂けたらと思ひて行っております、つい作品にも力が入ります。

機能訓練担当 機能訓練士 吉村



さわやか 2階 (肢体不自由・視覚障がい児部) 10名

今月の支援からピックアップしました

○書き初め

毛筆で好きな字や模様を書きました。室内に墨の香りが漂い、気持ちが落ち着くようでした。

○余暇活動

学校の休業日を利用して、アンパンマンミュージアムに行きました。利用者様ご自身より希望があり、実現に向けて数ヶ月前から計画を立てました。事前のご利用日に一緒にパソコンで见たいもの、食べたいものを調べ、大満足の一日を過ごすことができました。今後も利用者様の「やりたい!」「行きたい!」という思いを大切に支援していきたいと思ひます。

○室内遊び

お絵描き、粘土遊び、おままごと、動画鑑賞など、思い思いに楽しませていました。お友達と一緒に遊ぶのが好きな方もいれば、自分だけの空間を楽しまれる方もいらっしゃいます。いつもの場所で、いつもの遊びをすることで、気持ちが安定するようです。



すこやか 5階 (知的・発達障がい児部) 10名

寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか?5階の子どもたちもここにきてお腹を壊したり、インフルエンザにかかったりと体調を崩す方がチラホラ見受けられます。どうか体調には十分お気を付けてください。

さて、1月の5階での催しです。特段、普段と変わることもないのですが、工作などでは、手づくりでだるまさんを作りました。みんな一生懸命作ってくれて気持ちもこもっています。きっといいことがあるでしょう。土曜日や祝日には、公園へ出かけたり、畑へ出かけたりしました。公園ではみんなでプランコをして、寒さを感じせずに元気がいっぱいでした。畑では、収穫をして、育てる喜びを感じてもらえたらいいなと思ひて、取り組んでいます。

また、2月には季節柄、節分ということもあり、鬼の衣装を着て豆まきをしたり、鬼に向かって夜店の的当てゲームのようなものも行いました。皆さん、各々に楽しませていたと思ひます。

しっかりとやることはやり、楽しむときには、みんな楽しんでというメリハリをもって支援にあたらせてもらっています。昨年から、新しく加わった新小学1年生もよくふれあいになじんでくれています。そんな中で、来年度もまた、新一年生が加わります。高校生の年長さんも温かく受け入れてくれています。また、期待と不安でいっぱいだと思いますが、大丈夫。きっと良いことが待ってるよ。ちょっとした壁だって乗り越えてみせる。そんな思いを子供たちに抱かせたいですね。

